

第3回定期総会 7月13日



「さくら友の会」の総会が7月13日(日)、深坂自然の森にある「森の家」で開かれました。室内会議場は、他の団体が先に借りていたため、屋外で行われた。

出席者四二名、総会は手際よく進められ約20分で終了。直ちに第1回定例会に切り替え、草刈作業を行いました。皆もそのつもりで、完全武装して出席しています。運動前に先ず準備体操。これも前々回から恒例化しています。作業の後は、広場でバーベキューをしました。暑い時に、汗を



かき、熱いバーべキューで暑さを吹き飛ばす。そ  
ういえば「熱時熱殺」などという四文字熟語があ  
つた。「同じ釜の飯を食  
う」こんな諺もあつた。  
若いも若きも、男も女も  
和気藹々のひとときでし  
た。(2、3面)



ウオーキング、句会、  
昼食を挟んで大声大会、  
などが開かれた。  
それらの準備は会員交  
流部会が中心になつて行  
つたが、中でも津田和子  
さんの働きには目を見張  
るものがあつた。ゲーム  
の企画から、会場の飾り  
の大道具、小道具の製作、  
ゲームの賞品準備など一  
手に引き受けられて、周  
囲を不安がらせるほどで  
あつた。しかし、当日、  
想像以上の準備に一同安  
心すると共に、その働き  
にあらためて感謝した。



ウオーキングは「健脚コース」と「健康コース」が準備されていた。健脚コースは見晴らし台までの往復、俳句を作る課題が与えられている。



健康コースは、植物に詳しい平野氏夫妻の案内で、植物探索を行った。樹木の葉を取つて、その葉脈を觀察し、葉を折り曲げて匂いを嗅ぐ。



第一回の「深坂さくらえ」、自画自贅かもしけないが、特色が出て楽しめた。



大した距離を歩いたわけではないが、色々な樹木や野草の名を聞いた。皆が一様に感心したのがマムシグサだ。独特な形をしており、茎の部分には丁度蛇のような模様がある。



専門的な説明に、皆熱心に聞き入った。

样四方山

「深坂さくらえ」では、ウォー・キングしながら、俳句を作つた。表されないでは張り合ひがない。そこで、玉石を問わずこの「一ナ」で披露することにした。さくら咲く人の中にときめきを・さくらえやみさかの森はこだまする・うららかなみさかのもりへさくらめで・さくらえは顔もほころび足からし・あいさつを交わす言葉に映える桜花(はな)・風に舞う花びらひとつ髪飾り・さくらえやあたらしきともきたれりや・桜晴れこころとからだリフレッシュ・そよ風にピンクが踊る深坂池・さくらえに集いて明日に希望(ゆめ)つなぐ・桜舞う深坂の森に子等の声・深坂路(みさかじ)に希望(ゆめ)が舞い散る花嵐(はなあらし)・深坂路は皆の希望(ゆめ)のせ花嵐(はなあらし)・深坂路に夢と希望の花吹雪・汗だくで刈った深坂よさくられよ・深坂路を遠く眺めるやまざくら・さくら咲く年に一度の晴れ舞台・早く咲け祈る記念の手植え花・春らんまん深坂さくらえ汗のあと・植えし人の喜び浮かぶ花見坂・手を添えて小さき花の芽さくらえに・(三頁)